

2 学期が始まります

4 2 日間の夏休みが終わり、いよいよ 2 学期が始まります。

今年の夏休みはスポーツに沸いた夏休みという印象があります。そのいちばんに挙げられるのが、言うまでもなくリオ・オリンピック(パラリンピックは9月8日から)です。様々な種目で日本選手が活躍し、史上最多のメダルを獲得し、4年後の東京オリンピックが楽しみな結果でした。特に印象に残っているのが、男子体操と陸上男子400mリレーです。男子体操の内村選手は、個人で最後の種目で逆転金メダルを勝ち取りました。最後まで諦めないその姿勢に、感動しました。そして、もっと感動したのは、その後の記者会見です。内村選手への審判の採点が甘いのではないかと質問がありました。これに対して内村選手は苦笑いをしていましたが、2位のベルニャエフ選手(ウクライナ)が、きっぱりとそれを否定したのです。審判は公平なジャッジをしている。内村選手の演技は自分より上だった。と潔く敗北を認めています。自分の敗北や失敗を他人のせいにしていません。素晴らしいスポーツマンだと思いませんか？私は、内村選手と同じぐらい彼に拍手をおくります。



陸上男子400mリレーの銀メダルも素晴らしかった。日本の4選手は100mで一人も9秒台を出していません。ジャマイカは4選手共にベストタイムは9秒台、アメリカやカナダ、イギリスには9秒台の選手が混じっています。しかし、日本選手はバトンパスを工夫し、そのハンデを克服しました。おそらく、日本選手のバトンパス技術は世界最高ではないでしょうか。速さでは他の国の選手にかなわないから、その差を何とか埋めようと創意工夫しての銀メダルです。自分たちの長所を生かし、短所を克服しようというこの姿勢は私たちも見習わなければなりません。



オリンピック以外では、高校野球です。市立尼崎高校(イチアマ)が、33年ぶりに甲子園出場も忘れられません。実は私はイチアマから徒歩3分のところに住んでいます。ですから、よく野球部の生徒たちを見かけます。体はそんなに大きくなく、普通の高校の野球部の子という感じです。正直、「甲子園は…」とっていました。ところが、西宮今津高との延長再試合を制し、強豪報徳学園に完封勝ちし、決勝では春の選抜ベスト8の明石商を破っての県大会優勝です。本当にびっくりすると共に立派だなと感じました。

残念ながら甲子園では初戦で敗れましたが、最終回に一度は2点差を追いつき、延長戦に持ち込むという粘りを見せてくれました。最後まで諦めない事の大切さ教えられました。ごく普通の高校生のイチアマ野球部の健闘に拍手喝采です。

振り返るとオリンピックにしても高校野球にしても最後まで諦めないという選手たちの姿勢が目立ったと思います。ここに書けなかった試合でも同じ事が言えます。杭瀬小学校のみなさんもそのような場面を観戦したと思います。ぜひ、見習ってほしいです。

2学期は、水泳記録会、自然学校、修学旅行、音楽会など行事がたくさんあります。それぞれの取り組みの中で、みんなで力をあわすこと、創意工夫を凝らすこと、最後まで諦めないことを忘れないでください。そのためには、早く生活のリズムを夏休みバージョンから2学期バージョンにきりかえてください。それがまず第1です。がんばりましょう。

保護者の皆様、長い夏休みが終わり、ほっとされているのではないのでしょうか。2学期も杭瀬小学校の教育活動へのご協力とご支援よろしく申し上げます。

9月

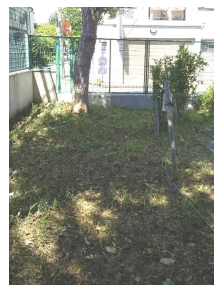
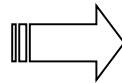
日	曜日	児童活動・学校行事
1	木	始業式 大そうじ
2	金	2年身体測定
5	月	1年身体測定
6	火	水泳記録会(5・6年選手) 3年身体測定
7	水	水泳記録会予備日 4年身体測定
8	木	給食開始 5年身体測定
9	金	6年身体測定 4年校外学習
12	月	朝会 委員会 作品搬入
13	火	夏休み作品展
14	水	夏休み作品展 2年校外学習
16	金	授業参観(5h) 懇談(6h)
19	月	敬老の日
21	水	児童集会
22	木	秋分の日
26	月	5年自然学校出発 4年出前授業(防災)
28	水	1年学年活動 4年校外学習
30	金	5年自然学校帰校 3年校外学習



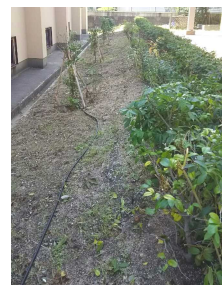
玄関に通じる石畳の石造



ごみステーションいっぱい



北門横フェンス側



体育館横

一部改正された学習指導要領のポイント

(h27.3 文部科学省ホームページより)

「道徳の時間」(小・中学校で週1時間)を「特別な教科 道徳」(引き続き週1時間)として新たに位置付ける学習指導要領の一部改正が行われました。

(平成27年3月27日改正)

【具体的なポイント】

- 道徳科について検定教科書を導入
- 内容について、いじめの問題への対応の充実や発達の段階をより一層踏まえたものに改善
- 「個性の伸長」「相互理解、寛容」「公正、公平、社会主義」「国際理解、国際親善」「よりよく生きる喜び」の内容項目を小学校に追加
- 問題解決的な学習や体験的な学習などを取り入れ、指導方法を工夫
- 数値評価ではなく、児童生徒の道徳性に係る成長の様子を把握

28年度、29年度は、学習指導要領等(小学校)の移行期間で、30年度から実施となります。30年度から検定教科書の使用開始となります。

■ 勤労、公共の精神 [学年段階ごとに指導の要点を示しています]

- (1・2学年) 働くことのよさを知り、みんなのために働くこと
- (3・4学年) 働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと
- (5・6学年) 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること

小さい頃、父に「働くとは、“はた”を楽にしてあげることやで。」と話してもらったことを今でも覚えています。(どうして自分ばかり…)と心の中で愚痴を言うより、「まず動いてみなさい」と言われました。人が望んでいることより、少しだけ多めに(サービス)することで、他人に認められたり、感謝されたりすることがありました。喜ばれることで、『やってよかった』と思ったことを覚えています。

杭瀬の子どもたちが“働くことのよさ”を知り、人のために動くことで“充実感”を味わい、働く喜びを知ったステキな心を育ててくれることに期待しています。お家でも『働くこと』について話してみませんか? (武市)

8月27日(土) 杭瀬小学校 環境美化(草抜き作業)

ありがとうございました!!

スポーツ21等、スポーツ施設を使用する団体(チーム)が、午前中、杭瀬小学校の草抜きをしてくれました。日頃できないところまで、汗をかきながら作業してくださいました。

「〇〇さんが、頑張りNO1やな!」と認め合いながら、励まし合いながらの作業でした。